



# 米国株 MARKET PICK UP



## 先週の米国株式市場—企業の好決算を受けダウ平均史上最高値更新—

	前週終値	7月14日	7月15日	7月16日	7月17日	7月18日	週間騰落幅	週間騰落率
ダウ平均	16,943.81	17,055.42	17,060.68	17,138.20	16,976.81	17,100.18	+156.37	+0.92%
騰落幅		+111.61	+5.26	+77.52	-161.39	+123.37		
S&P500	1,967.57	1,977.10	1,973.28	1,981.57	1,958.12	1,978.22	+10.65	+0.54%
騰落幅		+9.53	-3.82	+8.29	-23.45	+20.10		
ナスダック総合指数	4,415.49	4,440.42	4,416.39	4,425.97	4,363.45	4,432.15	+16.66	+0.38%
騰落幅		+24.93	-24.03	+9.58	-62.52	+68.70		

### ＜先週の概況＞

先週の米国株式市場は企業の好調な決算発表が好感され、反発しました。シティ(C)、ゴールドマン・サックス(GS)、JPモルガン(JPM)などの金融機関の決算が市場予想を上回ったほか、インテル(INTC)は純利益が前年同期比40%増の好決算を発表し、翌日株価は9%超値上がりました。

17日にはウクライナ上空で民間航空機が撃墜されたことやイスラエルがガザ地区に地上部隊を投入するなどの地政学リスクの高まりが嫌気され、大きく売られたものの18日には反発しました。

NYダウ平均とナスダック総合指数の推移



(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

## 米国株式市場バリュエーション

指数	予想PER (倍)	PBR (倍)	予想配当利回り
ダウ平均	15.1	3.0	2.3%
S&P500	16.6	2.7	2.0%
ナスダック総合指数	21.5	3.4	1.1%

(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成 (2014年7月18日時点)

S&P500と予想PERの推移



(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

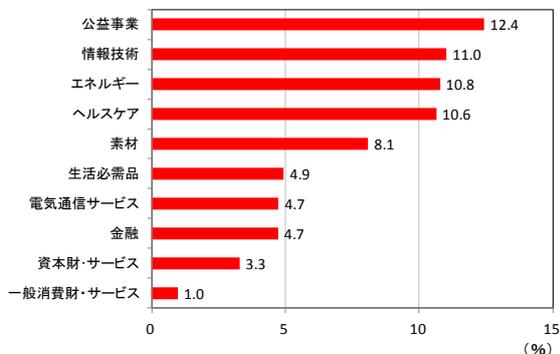
ドル円と米国長期金利の推移



(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

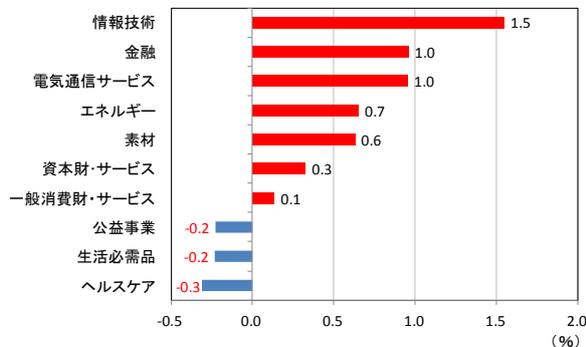
## 業種別リターン

S&P500 業種別年初来リターン



(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

S&P500 業種別週間リターン



(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

## ダウ平均採用銘柄 週間騰落率ランキング

値上がり率ランキング (7/14-7/18)

ティッカー	銘柄名	週間騰落率 (%)
INTC	インテル	8.0
MSFT	マイクロソフト	6.2
JPM	JPモルガン・チェース・アンド・カンパニー	4.4
GS	ゴールドマン・サックス・グループ	4.0
UNH	ユナイテッド・ヘルス・グループ	3.2
IBM	IBM	2.4
PFE	ファイザー	2.2
CSCO	シスコシステムズ	1.5
CVX	シェブロン	1.5
V	Visa	1.5

(出所) マネックス証券作成

値下がり率ランキング (7/14-7/18)

ティッカー	銘柄名	週間騰落率 (%)
JNJ	ジョンソン・エンド・ジョンソン	-3.1
MCD	マクドナルド	-1.4
DIS	ウォルト・ディズニー	-1.2
AXP	アメリカン・エキスプレス	-1.0
PG	プロクター・アンド・ギャンブル・カンパニー	-0.8
UTX	ユナイテッド・テクノロジーズ	-0.5
BA	ボーイング	-0.4
GE	ゼネラル・エレクトリック	-0.3
MRK	メルク	-0.2

(出所) マネックス証券作成

### <上昇>

好決算を発表した各社の上昇が目立ちました。インテル (INTC) は4-6月期の純利益が前年同期比40%増という好決算とともに、通期見通しについて強気な内容を発表し、株価は週間ベースで8%と大きく上昇しました。マイクロソフト (MSFT) は従業員を計1万8000人削減すると発表、コスト削減につながるとして株価は上昇しました。IBM (IBM) はアップル (AAPL) との提携を発表したことが好感され買われました。

### <下落>

ジョンソン・エンド・ジョンソン (JNJ) の決算は1株益が市場予想を上回ったものの、週間ベースで株価は3%超下落しました。

## 先週発表された主な経済指標

住宅着工件数 6月 89.3万件 市場予想 102.0万件 前月 98.5万件 (下方修正)

NAHB住宅市場指数 7月 53 市場予想 50 前月 49

※住宅着工件数は年率換算・季節調整済

17日に発表された6月の住宅着工件数は年率換算89.3万件と2013年9月以来の低水準でした。一方、16日に発表された、不動産建設業者の景況感を表すNAHB住宅市場指数の7月分は、53と今年の1月以来6ヶ月ぶりに改善と悪化の基準となる50を超え、市場予想を上回りました。

より先行性が高いとされるNAHB住宅市場指数は改善した一方で、着工件数は大幅な落ち込みとまちまちな結果となったことで、住宅市場の先行きはやや不透明となりました。

住宅着工件数とNAHB住宅市場指数



(出所)マネックス証券作成

## 今後発表される主な経済指標

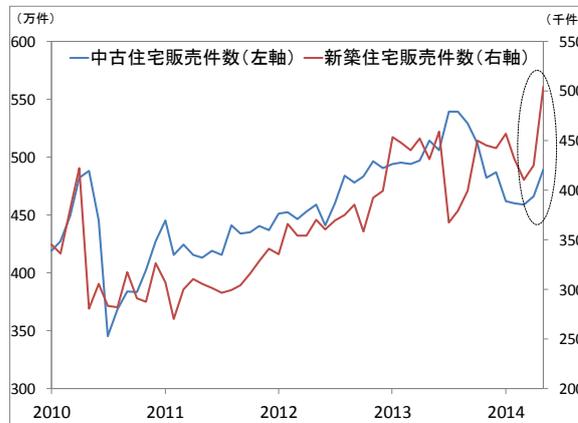
7月22日 6月中古住宅販売件数 市場予想 499万件 前月 489万件

7月24日 6月新築住宅販売件数 市場予想 48万件 前月 50.4万件

22日に中古住宅、24日に新築住宅の6月分販売件数が発表されます。両指標とも5月分は今年に入ってから最も販売件数が多く、住宅市場の底打ちを期待させる内容でした。ただ、前述したように、先週発表された6月分の住宅市場の先行指標はまちまちな結果でした。

米国の住宅部門は、「関連消費の拡大」と「住宅価格上昇による資産効果」という2つの点で景気押し上げ効果が期待でき、米国経済全体へ与える影響も非常に大きいものとなっています。寒波による販売落ち込みから完全に脱し、販売数が増加基調に戻ることができるのか、注目されます。

中古住宅販売件数と新築住宅販売件数



(出所)マネックス証券作成

マーケットビューー決算は出足好調 今週は地政学リスクを見極めながらの展開かー

先週の米国株式市場はインテルなどの好決算を背景に上昇しました。ただ、週の後半にウクライナで民間航空機が撃墜されるという悲劇が発生、さらにイスラエルがガザ地区に地上部隊を投入するなど、地政学リスクが急激に高まり警戒感が強まりました。

トムソン・ロイター社の調査によると、S&P500 採用銘柄の 4-6 月期決算は前年同期比 5.0% の増益となる見通しです。これまでに決算発表を行った 82 社中 7 割近くがアナリスト予想を上回っており、企業決算は好調に推移していると見て良さそうです。

今週はコカ・コーラ (KO)、マイクロソフト (MSFT)、ボーイング (BA)、AT&T (T)、キャタピラー (CAT)、ビザ (V) といったダウ平均採用銘柄から、アップル (AAPL)、フェイスブック (FB)、アマゾン (AMZN) などのハイテク関連まで、決算発表がピークを迎えます。好調な企業決算を背景に株式市場が一段高というシナリオは変えておりませんが、今週は前述したウクライナ問題や中東情勢を見極めながらの推移となりそうです。

フィナンシャル・インテリジェンス部 益嶋 裕

**利益相反に関する開示事項**

マネックス証券株式会社は、契約に基づき、オリジナルレポートの提供を継続的に行うことに対する対価を契約先証券会社より包括的に得ておりますが、本レポートに対して個別に対価を得ているものではありません。レポート対象企業の選定はマネックス証券が独自の判断に基づき行っているものであり、契約先証券会社を含む第三者からの指定は一切受けておりません。レポート執筆者、並びにマネックス証券と本レポートの対象会社との間には、利益相反の関係はありません。

- ・当社は、本レポートの内容につき、その正確性や完全性について意見を表明し、また保証するものではありません。
- ・記載した情報、予想および判断は有価証券の購入、売却、デリバティブ取引、その他の取引を推奨し、勧誘するものではありません。
- ・過去の実績や予想・意見は、将来の結果を保証するものではありません。
- ・提供する情報等は作成時現在のものであり、今後予告なしに変更又は削除されることがございます。
- ・当社は本レポートの内容に依拠してお客様が取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。
- ・投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。
- ・本レポートの内容に関する一切の権利は当社にありますので、当社の事前の書面による了解なしに転用・複製・配布することはできません。

マネックス証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 165 号  
 加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会